

脳神経外科

部長 林 悟

診療体制

2024 年は林，西本（陽央），西本（祥大），鍵本，新野，松岡から三浦の 6 人体制で診療にあたった。

診療実績

入院患者数と脳卒中患者数：2023 年と比較してやや減少したものの，2024 年はコロナ禍前を上回る 627 例の入院患者数であった（図 1）。脳卒中に関しては，脳梗塞は脳神経内科と脳神経外科で担当し，脳出血とクモ膜下出血の出血性脳卒中は全て脳外科が担当している。当科に入院した脳卒中患者数は 404 例であり，入院患者数の約 64%が脳卒中であった。2023 年とほぼ同数の脳出血，くも膜下出血，脳梗塞の症例数であり，特に脳梗塞患者が増加している（図 2）。2020 年より軽症頭部外傷は救急科が担当してくださっている。

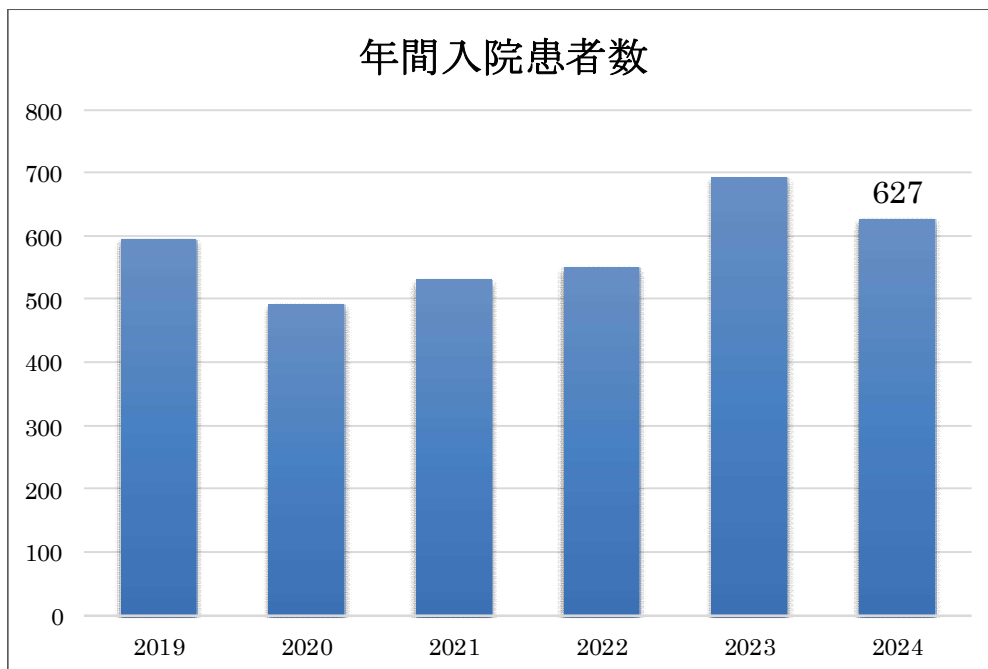


図 1 年間入院患者数

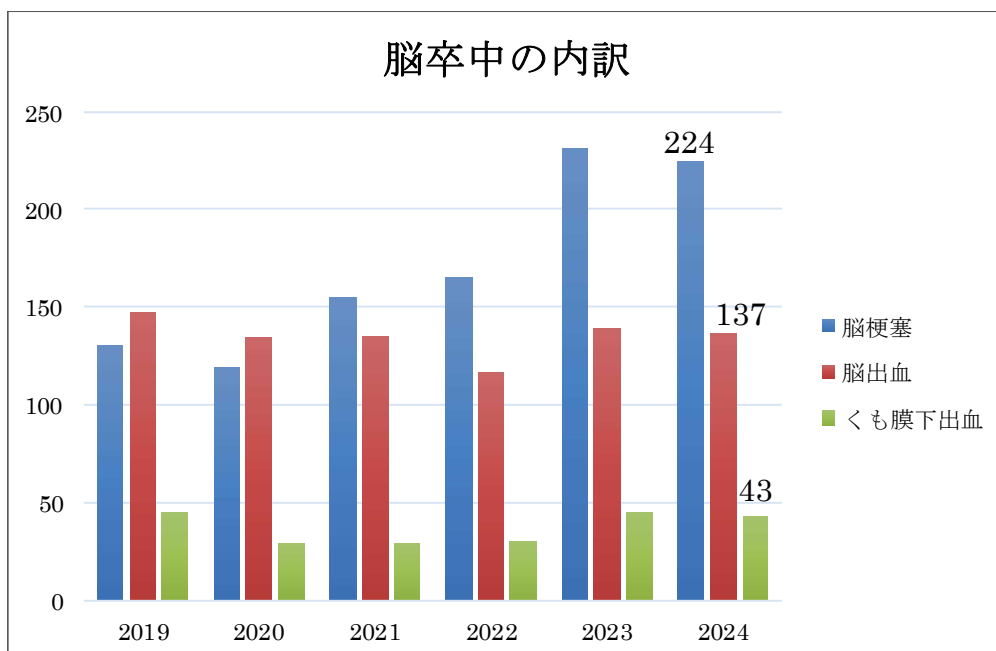


図 2 脳卒中の内訳

手術件数：2022 年は 228 件と大きく手術件数が落ち込んだが、2023 年と 2024 年はコロナ禍前を超える手術件数が続いている（図 3）。手術症例の内訳は例年通り、脳卒中と外傷がほとんどであり（表 1）、救急疾患が多い当科はコロナ禍で大きく影響を受けたが、2023 年からは救急の受け入れ制限がなくなり手術件数が増加している。一次脳卒中センター・コア施設に認定されたことも症例増加の要因の一つと思われる。

tPA 治療と血管内再開通療法：脳梗塞急性期治療である tPA 投与件数は 88 例であり、50 例前後で推移していたが増加傾向にあり 2024 年は過去最多であった。tPA 適応と判断される症例はほぼ実施されていると思われる。血管内再開通療法は 63 例で昨年とほぼ同数であった（図 4）。今後も tPA 治療が必要な患者さんを迅速に紹介していただけるように、地域連携を進める必要があると感じている。

2020 年 8 月から医療用コミュニケーションアプリ“Join”を導入し、脳卒中の急性期治療に関わる複数のメンバーとリアルタイムに情報をやりとりできるようになった。画像も送ることができ、カテーテル検査室の準備の状況や治療の進捗状況などもわかり時間短縮に役立っている。

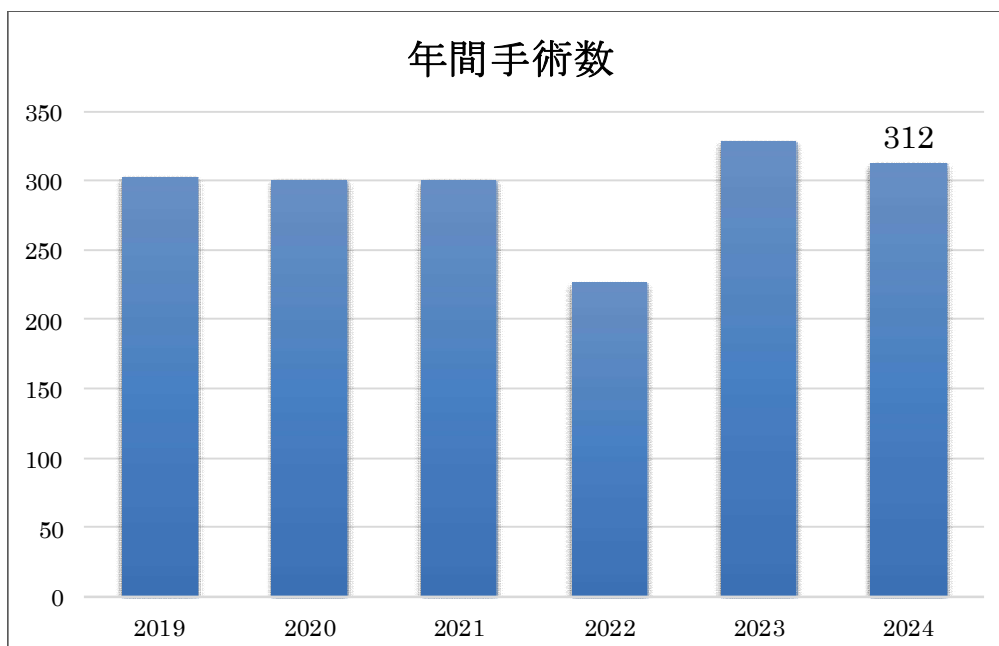


図 3 年間手術件数

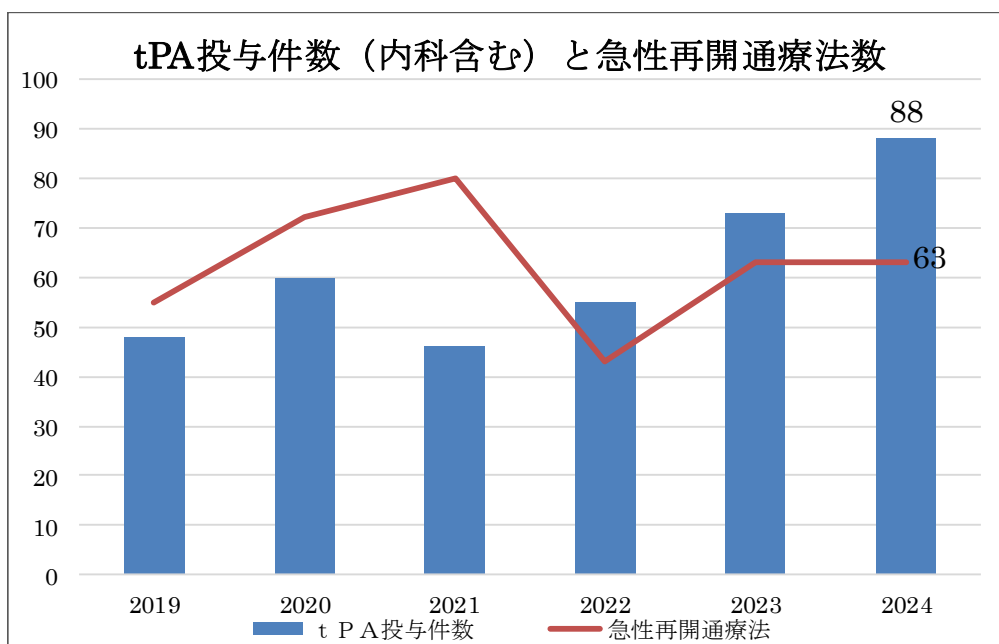


図 4 tPA 投与と急性再開通療法

表 1 手術症例の内訳

2024 年 手術症例数

脳腫瘍：摘出術	4
脳腫瘍：生検術（開頭術）	0
脳腫瘍：生検術（定位手術）	0
脳腫瘍：経蝶形骨洞手術	0
脳血管障害：破裂動脈瘤	21
脳血管障害：未破裂動脈瘤	3
脳血管障害：脳動静脈奇形	2
脳血管障害：頸動脈内膜剥離術	13
脳血管障害：高血圧性脳内出血（開頭血腫除去術）	10
脳血管障害：高血圧性脳内出血（内視鏡下血種除去）	15
脳血管障害：その他	34
外傷：急性硬膜外血腫	2
外傷：急性硬膜下血腫	15
外傷：慢性硬膜下血腫	38
外傷：その他	7
水頭症：脳室シャント術	11
水頭症：内視鏡手術	0
血管内手術：動脈瘤塞栓術（破裂動脈瘤）	17
血管内手術：動脈瘤塞栓術（未破裂動脈瘤）	4
血管内手術：閉塞性脳血管障害の総数	69
血管内手術：（上記のうちステント使用例）	7
血管内手術：その他	12
その他	35
合計	312

治療設備ほか

ハード面においては、ICG（インドシアニンググリーン）蛍光血管造影を使用した顕微鏡手術、ナビゲーション、MEPなどのモニタリングを適宜使用して、より安全な手術を心がけている。神経内視鏡による低侵襲の血腫除去術も行なっており、最近では Flow Diverter や W-EB などの新しい血管内治療も行なっている。

一次脳卒中センター・コア施設に認定され、また 6 人体制になり理想的な診療体制になりつつある。医師の働き方改革も考えながら、常に救急患者を受けられる体制を整えたい。脳神経外傷学会の認定研修施設にもなっており、特に脳卒中と頭部外傷の診療の質を高め、高知県の次世代の脳外科医を育成することを目標に、2025 年度も診療にあたりたい。

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
頸動脈内膜剥離術後 4 日目に後咽頭浮腫と頸部皮下組織の広範な浮腫を来した 1 例	西本 祥大 新野 健、梁瀬 瑛蘭、松岡 溪太、西本 陽央、林 悟	STROKE2024	3 月 7 日・ 9 日 横浜
経皮的卵円孔閉鎖術後かつ DOAC 内服中に 2 回再発した奇異性脳塞栓症に、血栓回収療法を行った一例	梁瀬 瑛蘭 新野 健、松岡 溪太、西本 祥大、西本 陽央、林 悟	STROKE2024	3 月 7 日・ 9 日 横浜
肝硬変を合併した慢性硬膜下血腫の危険性穿頭ドレナージ後、遅発性に急性硬膜下血腫を起こした 2 症例	西本 陽央 新野 健、梁瀬 瑛蘭、松岡 溪太、西本 祥大、林 悟	第 47 回 日本脳神経外傷学会	3 月 2 日 東京
両側開頭血腫除去術を要する頭部外傷いfloating craniotomyを行った一例	松岡 溪太 新野 健、梁瀬 瑛蘭、西本 祥大、西本 陽央、林 悟	第 97 回 日本脳神経外学会 中国四国支部会	4 月 7 日 米子
Carotid endarterectomy(CEA)の遮断解除手順についての考察	西本 陽央	第 33 回 脳神経外科手術と 機器学会	7 月 3 日～ 4 日 東京
非外傷性脳内出血に対するアンデキサネットアルファの当院での使用経験と課題	林悟 新野健、鍵本奈緒、松岡溪太、 西本祥大、西本陽央、根岸正敏	第 106 回 群馬大学脳神経 外科懇話会	8 月 3 日 群馬
第 Xa 因子阻害剤服用下の非外傷性脳内出血に対するアンデキサネットアルファの初期使用経験	林 悟 新野 健、鍵本 奈緒、松岡 溪太、西本 祥大、西本 陽央	日本脳神経外科学会 第 83 回学術総会	10 月 16 日 ～18 日 横浜
脳底動脈閉塞を伴わない、一側の椎骨動脈閉塞に対する血栓回収術	西本 陽央 新野 健、鍵本 奈緒、松岡 溪太、西本 祥大、林 悟	第 40 回 日本脳神経血管内 治療学会学術集会	11 月 21 日 ～23 日 熊本
外傷後 7 日目に破裂を来した外傷性脳動脈瘤の一例	新野 健 鍵本 奈緒、松岡 溪太、西 本 祥大、西本 陽央、林 悟	第 98 回(一社)日本脳神経外 科学会中国四国支部学術集 会	12 月 7 日 広島